

となる。嘉永以來志士の來る者を隠匿し、産を傾けて之を庇護す。文久三年美玉三平等と農兵組織を企て、事を舉げんとし、長州に至り、澤宜嘉の後を追うて歸郷し、事敗れて再び三田尻に至り、諸卿に謁し、志士と交る。元治元年以來四國九州に流寓し、再び歸郷して京都に出でんとし、慶應二年五月病にかゝりて死す。年五十二。【八一、八二、八四】

西村庄兵衛

名は延直、幼名兵吉、實は大藏村岡、但馬養父郡八鹿町の人、早崎次郎左衛門の第三子。先代庄兵衛の嗣となる。嘗て池田草庵を京都より迎へ、學徒を教授す。文久三年九月美玉三平等の企圖に参加し、物資を供給す。

西村清太郎

生野銀山事變の敗るゝに及び、代官所に捕へられ、村預け、自宅警居五年、西園寺公望入國の際、其家を本陣とし、幽閉を解き、國侍となす。明治十六年四月死。年七十。【八二、八四】

西村哲次郎

名は則義、山口藩士、文久三年夏奇兵隊に屬し、下關砲臺を守備す。後河上彌一などと三田尻に抵り、七卿を守衛す。尋で澤宜嘉等に從ひ生野義舉に加はる。事敗れて妙見山下に自殺す。年僅かに十八。【一〇四】

錦小路右馬頭

朝徳に同じ。尊皇攘夷、攘夷實行黨掲出。【三】

二條齊敬

朝幕交渉、井伊直弼執政時代、安政大獄前中後、久世安藤執政時代、文久大勢一變下、尊皇攘夷、攘夷實行黨掲出。【五〇、五六、七四】

野崎主計

名は正盛、大和十津川郷士。利七郎の子。嘉永中京都に出で梅田源次郎に從ひ尊攘の事に奔走す。文久三年八月中山忠光等の舉に参加し、敗れて責を引き、謝罪狀を征討軍に出し、九月廿四日川津狸尾山中に自殺す。

野宮宰相中將

年四十。【二三】

野宮定功

久世安藤執政時代、文久大勢一變下、尊皇攘夷、攘夷實行黨掲出。【四、三四】

【八行】

橋本實梁

朝幕交渉、久世安藤執政時代、文久大勢一變中、攘夷實行黨掲出。【四】

橋本若狹

朝幕交渉、久世安藤執政時代、文久大勢一變中、攘夷實行黨掲出。【四】

蜂須賀茂韶
林豹吉郎

尊皇攘夷、攘夷實行黨掲出。【四】
大和宇陀郡松山町拾生の子、鑄物師兵藏の子。長じて各地を遊歴し、蘭學砲術を學ぶ。後郡山藩に聘せられ大砲を鑄造す。文久三年秋天誅組の舉に加はり、鷲家口に戦死す。年四十七。【二五】

原道太

名は盾雄、久留米藩士。眞木和泉と親交あり、事を共にす。文久二年陸藩の大坂邸に到り、伏見の變に會し、國に幽閉せらる。三年五月赦されて三條實美の親衛兵となり、上京、八月七脚の西奔に従ひ、三田尻に到り、翌年七月長人と共に京に入り訴願せんとし、十七日砲丸に中りて死す。年二十七。【一一】

原田龜太郎

備中國松山の商、市十郎の子。名は廣。安政元年江戸に遊學し、また森

半田門吉

田節齋に従ひ學ぶ。後士籍に列せられ、文久の始め職を辭し京攝の間に居り、文久三年秋大和の舉に加はり、捕へられて京獄に入り、元治元年七月斬らる。【一七、二一】
名は成久、久留米藩士、安政元年日付役たり。藩命を奉じ各地に遊歴し、形勢を視察す。文久三年六月京都に留まり、八月中山忠光等の舉に加はり、砲隊長となり、鷲家口に負傷し、長州に逃れ、元治元年七月禁門の變戦つて死す。年三十一。【一三、二二、二三、二五】

東久世中將
東久世通禧

通禧に同じ。【三】
朝幕交渉、文久大勢一變中、尊皇攘夷、攘夷實行黨掲出。【三、一三、八

土方楠左衛門

攘夷實行黨掲出。【二、七七、八四、八五】

土方久元
一橋慶喜

楠左衛門に同じ。【八六、八七】
天保改革、彼理來航以前の形勢、神奈川條約締結、公武合體、朝幕背離緒篇、安政條約締結、朝幕交渉、井伊直弼執政時代、安政大獄前中後、櫻田事變、文久大勢一變上下、尊皇攘夷、攘夷實行黨掲出。【五、一三、三五、四八、五七、七二、七三、七四、七九】

平野國臣
平野次郎

次郎に同じ。【八三、八五】
安政大獄後、文久大勢一變上、攘夷實行黨掲出。【一七、三〇、八〇、八六、八七、八八、九〇、九二、九九】

フ

深瀬繁理

大和十津川郷士、幸右衛門の子。名は維正。夙に京都に入り、梅田雲濱等の志士と交る。文久三年天誅組の舉に加はり、津藩兵に捕へられ、九月廿五日白川河原に斬らる。年三十七。【一八】

藤本津之助

文久大勢一變上黨掲出。【二七、二八、二九】

藤本鐵石

津之助に同じ。【七、九、二八、二九、三〇、八〇】

ホ

保母健

名は景光、通稱鉞之進、島原藩士。平田鐵胤、齋藤彌九郎等に學ぶ。文久三年脱藩して諸國の志士に交り、秋大和の舉に加はり和歌山藩兵に捕へられ、京獄に入り、元治元年七月斬らる。年二十三。【一三、一七、二

堀 六郎

【一】名は義則、福岡藩士、大野喜右衛門の子。堀氏を嗣ぐ。文久二年長州に赴き奇兵隊に加はり、後歸國して同志を集め、五卿を宰府に護る。慶應二年幕府五卿を大阪に招かんとするに當り、決死之を拒み、藩議に觸れ、玄界島に流され、七月七日配所に死す。年三十三。【九二】

本多小太郎

膳所藩士、山本隆左衛門の子。初名隆助、祖父本多修理の後を承け本多氏を稱す。通稱小太郎、幼時父と共に江戸藩邸に祇役す。性豪宕自ら罪を犯して僧となり、洛東明暗寺に入り、但馬明暗寺出張所に住す。文久三年秋同志と事を擧げ敗れて播州に赴き、姫路藩兵に捕へられ京都の獄に入り、元治元年七月廿日殺さる。年

【マ行】

マ

四十五。【八一、八三、九〇】

眞木和泉

文久大勢一變上下、攘夷實行黨掲出。【八、九、一〇、一一、一二、八一、八四、八六】

牧野備前守

忠恭に同じ。文久大勢一變下、尊皇攘夷黨掲出。【三八、四七】

益田右衛門介

文久大勢一變上中黨掲出。【二、五、九】

益田彈正

右衛門介に同じ。【八五】

松平淡路守

蜂須賀茂韶に同じ。尊皇攘夷黨掲出。【四】

松平容保

朝幕背離緒黨、安政大獄後黨、久世安藤執政時代、文久大勢一變下黨、尊皇攘夷、攘夷實行黨掲出。【六、二

松平相模守

○、三六、三七、四三、四六、四九、七四、七八、九一、九五】池田忠徳に同じ。【四】

松平修理大夫

島津忠義に同じ。櫻田事變、文久大勢一變上中下、攘夷實行黨掲出。【七】

松平春嶽

幕府分解接近時代、孝明天皇初期世相、公武合體、朝幕背離緒黨、安政條約締結、朝幕交渉、井伊直弼執政時代、安政大獄前後、櫻田事變、開國初期、文久大勢一變上中下、尊皇攘夷、攘夷實行黨掲出。【五、一三、三四、三五、三九、四〇、四二、四三、四七、四八、四九、五〇、五九、七一、七二、七四、七七、七九】

松平土佐守

山内容堂に同じ。【七】

松平直克

實は有馬頼徳十三子。天保十一年二月生る。川越藩主大和守直侯の嗣となり、文久三年上野に移封され、既

松平大和守

橋に城きて居る。またこの年より幕府の政治總裁職となる。明治三十年一月死。【四八、四九】

松平肥後守

直克に同じ。【四七】

松平保申

容保に同じ。【二〇、六一】

松林飯山

本姓は柳澤氏、大和郡山藩主。保山とも稱す。甲斐守侍従となる。保興の子。弘化三年三月生れ、明治二十六年十月死。【二〇】

松本謙三郎

九【二八】

名は衝、字は士權、奎堂と號す。三州刈谷藩士、實は印南維成二男、松本氏の嗣となる。少時槍術を習ひ右眼を傷く。讀書精勵、藩吏となり老臣を彈劾し、罪を獲、屏居三年、赦されて江戸昌平學に學ぶ。安政の末尾張にあり諸生を教授す。文久二年大阪に居り、尊攘志士と交り、三年八月大和に兵を擧げ敗れて自殺す。年三十四。【九、一三、一四、二七、二八】

松本奎堂

謙三郎に同じ。【二八、二九、三〇、八〇】

萬里小路博房

朝幕交渉、尊皇攘夷、攘夷實行篇掲出。【四、五六】

前田孫右衛門

文久大勢一變上、尊皇攘夷、攘夷實行篇掲出。【七】

美玉三平

三

文久大勢一變上、攘夷實行篇掲出。【八〇、八二、八三、八八、九〇、九一、九二、九九】

水郡善之助

河内甲田村の農岩五郎の長子。名は長雄、後姓を田中と改む。京都に出で、松田重助、岩積五郎等と交り、文久三年八月天誅組に加はり、編重の事を司る。後捕へられ京獄に入り、元治元年七月獄中に斬らる。年三十九。【一五、一七、二一】

水野和泉守

忠精に同じ。【三八】

水野忠精

櫻田事變、文久大勢一變下、尊皇攘夷、攘夷實行篇掲出。【四六】

南八郎

河上彌一に同じ。【八九、九〇、九二、九六、九七、一〇〇、一〇一、一〇二、一〇三、一〇四、一〇五】

壬生修理大夫

基修に同じ。文久大勢一變中、攘夷實行篇掲出。【三】

宮部鼎藏

孝明天皇初期世祖、文久大勢一變上下、尊皇攘夷、攘夷實行篇掲出。【二、七七、八四】

モ

毛利定廣

安政大獄後、文久大勢一變上中下、尊皇攘夷、攘夷實行篇掲出。【八五、八六】

毛利慶親

彼理來航及其當時、井伊直弼執政時代、安政大獄前後、文久大勢一變中下、尊皇攘夷、攘夷實行篇掲出。【八六】

森下幾馬

名は茂時、儀之助の弟、土佐秦泉寺の人。夙に京攝に遊び、文久三年八月兄と共に中山忠光の義舉に與し、敗れて鷲家口に自殺す。年三十。【一

森下儀之助

三、一五、二二】
幾馬の兄、才次郎の子。壯時京都に出で勤王志士と交り、文久三年秋天誅組の舉に與みし、鷲家口に敗れ、津藩兵に捕へられ、京獄に入り、元治元年二月斬らる。年三十四。【二二、二五】

【ヤ行】

ヤ

安岡斧太郎

土佐安藝郡安田浦の人。父は龜五郎。田所左右次、樋口武に銃剣を修む。同志五十人組に入り、藩主を護して京都にあり、文久三年自ら修業に託し、北國諸州を一周し京都に還る。この年秋中山忠光等の舉に加はり、敗れて津藩兵に捕はれ京都の獄に入

り、元治元年二月斬らる。年二十七。

【一三、一五、三一】

安岡嘉助

名は正定、土佐香美郡山北村の人、文助の二男。武市瑞山の門に入る。文久二年四月那須信吾等と吉田元吉を斬り、長州に奔り、ついで京都に入り、三年八月天誅組の舉に與みし、敗れて捕はれ、元治元年二月京獄に斬らる。年二十九。【一三】

山内兵之助

攘夷實行黨掲出。【四】

山内容堂

豊信に同じ。公武合體、安政條約締結、朝幕交渉、井伊直弼執政時代、安政大獄前後、文久大勢一變下、尊皇攘夷、攘夷實行黨掲出。【四七、四八】

山階宮晃親王

文久大勢一變中篇掲出。【五一】

山田市之丞

文久大勢一變下篇掲出。【二】

ヨ

横井小楠

彼理來航及其當時、孝明天皇初期世相、公武合體、久世安藤執政時代、文久大勢一變中下、攘夷實行黨掲出。【四五】

吉井幸輔

吉井友實に同じ。井伊直弼執政時代、安政大獄後、文久大勢一變上中篇掲出。【三五】

吉田松陰

神奈川條約締結、孝明天皇初期世相、安政條約締結、朝幕交渉、井伊直弼執政時代、安政大獄前中後、櫻田事變、文久大勢一變上下、尊皇攘夷、攘夷實行黨掲出。【一】

吉田東洋

文久大勢一變下篇掲出。【一三】

吉村重郷

寅太郎に同じ。【三一、八〇】

吉村寅太郎

文久大勢一變上下篇掲出。【一三、一四、一五、一七、一九、二一、二七】

二八、一〇五】

【ワ行】

ワ

分部若狭守

攘夷實行黨掲出。【四】

索引

【ア行】

ア

芥川	六、七、六六
朝來郡佐中村	三九二
朝來郡神子畑村	四二五
阿波	一〇
會津	七
會津藩	三三三
アメリカ	二九七
イ、ウ	
生野	三九二、三九三、三九四、三九五、三九六、三九七、三九八、三九九、四〇〇
生野銀山	四〇〇
伊勢山田	三九三
伊豆尾村	一三四
出石	四〇〇、四〇一、四〇二、四〇三、四〇四、四〇五、四〇六

ウ

出石城	四六〇
猪野上町	四三二
岩國	四二七
岩須賀山	四七〇、四九六
岩須城	四九五
岩洲山	四七二、四七七
岩本谷	一三六
岩屋谷	四六四
ウ	
宇佐八幡	三九四
宇陀	一三三、一三四
宇治川	五八
浦向村	一三
宇和島	一六六
エ、ヒ、フ	
エギリス	二九四、二九六
江戸	三、一八、二二、二五、二九、三三、三五、三七、三九、四一、四三、四五、四七、四九、五一、五三、五五、五七、五九、六一、六三、六五、六七、六九、七一、七三、七五、七七、七九、八一、八三、八五、八七、八九、九一、九三、九五、九七、九九、一〇一、一〇三、一〇五、一〇七、一〇九、一一一、一一三、一一五、一一七、一二一、一二三、一二五、一二七、一二九、一三一、一三三、一三五、一三七、一三九、一四一、一四三、一四五、一四七、一四九、一五一、一五三、一五五、一五七、一五九、一六一、一六三、一六五、一六七、一六九、一七一、一七三、一七五、一七七、一七九、一八一、一八三、一八五、一八七、一八九、一九一、一九三、一九五、一九七、一九九、二〇一、二〇三、二〇五、二〇七、二〇九、二一一、二一三、二一五、二一七、二一九、二二一、二二三、二二五、二二七、二二九、二三一、二三三、二三五、二三七、二三九、二四一、二四三、二四五、二四七、二四九、二五一、二五三、二五五、二五七、二五九、二六一、二六三、二六五、二六七、二六九、二七一、二七三、二七五、二七七、二七九、二八一、二八三、二八五、二八七、二八九、二九一、二九三、二九五、二九七、二九九、三〇一、三〇三、三〇五、三〇七、三〇九、三一
江戸城	三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇、一〇一、一〇二、一〇三、一〇四、一〇五、一〇六、一〇七、一〇八、一〇九、一一〇、一一一、一一二、一一三、一一四、一一五、一一六、一一七、一一八、一一九、一二〇、一二一、一二二、一二三、一二四、一二五、一二六、一二七、一二八、一二九、一三〇、一三一、一三二、一三三、一三四、一三五、一三六、一三七、一三八、一三九、一四〇、一四一、一四二、一四三、一四四、一四五、一四六、一四七、一四八、一四九、一五〇、一五一、一五二、一五三、一五四、一五五、一五六、一五七、一五八、一五九、一六〇、一六一、一六二、一六三、一六四、一六五、一六六、一六七、一六八、一六九、一七〇、一七一、一七二、一七三、一七四、一七五、一七六、一七七、一七八、一七九、一八〇、一八一、一八二、一八三、一八四、一八五、一八六、一八七、一八八、一八九、一九〇、一九一、一九二、一九三、一九四、一九五、一九六、一九七、一九八、一九九、二〇〇、二〇一、二〇二、二〇三、二〇四、二〇五、二〇六、二〇七、二〇八、二〇九、二一〇、二一一、二一二、二一三、二一四、二一五、二一六、二一七、二一八、二一九、二二〇、二二一、二二二、二二三、二二四、二二五、二二六、二二七、二二八、二二九、二三〇、二三一、二三二、二三三、二三四、二三五、二三六、二三七、二三八、二三九、二四〇、二四一、二四二、二四三、二四四、二四五、二四六、二四七、二四八、二四九、二五〇、二五一、二五二、二五三、二五四、二五五、二五六、二五七、二五八、二五九、二六〇、二六一、二六二、二六三、二六四、二六五、二六六、二六七、二六八、二六九、二七〇、二七一、二七二、二七三、二七四、二七五、二七六、二七七、二七八、二七九、二八〇、二八一、二八二、二八三、二八四、二八五、二八六、二八七、二八八、二八九、二九〇、二九一、二九二、二九三、二九四、二九五、二九六、二九七、二九八、二九九、三〇〇、三〇一、三〇二、三〇三、三〇四、三〇五、三〇六、三〇七、三〇八、三〇九、三一〇、三一

三州刈谷……………六二

飾磨……………四七、四三

重坂峠……………八八

四國……………八

下市……………一〇七、一〇八、一〇九

下市町……………一〇九

下之關……………六六

書寫山……………九

白川村……………二四

新宮……………二〇

新波戸……………三七

新町……………四七、四八

新湊……………四二、四七

神武帝陵……………七八

ス……………

すだれ口……………一一

セ……………

膳所藩……………三九

前鬼山……………一五

泉州堺表……………六六

仙臺……………三三

【夕行】……………

夕……………

道頓堀……………二七

高田……………三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七

高田の驛……………三六

高田の町……………二六

高田村……………三六、四四、四五

高取……………八五、八五、九〇

高取城……………八四、八五、八八、九〇、一三八

竹田町……………四四、四五、四六

但馬國養父郡高田村……………三九、四五

龍野……………四六

龍谷村……………四七

田丸藩……………一三

多武峰……………一七

玉造……………一七

チ

千早峠……………七

ツ

津和野……………二

テ

天の川辻……………八

天の辻……………六、九、一〇、一〇一、一一

天保山……………六六

天王寺……………一七

ト

土佐縣常安橋……………六六

十津川……………一〇一、一〇二、一〇三、一〇四、一〇五、一〇六、一〇七、一〇八、一〇九、一一〇、一一一、一一二、一一三、一一四、一一五、一一六、一一七、一一八、一一九、一二〇、一二一、一二二、一二三、一二四、一二五、一二六、一二七、一二八、一二九、一三〇、一三一、一三二、一三三、一三四、一三五、一三六、一三七、一三八、一三九、一四〇、一四一、一四二、一四三、一四四、一四五、一四六、一四七、一四八、一四九、一五〇、一五一、一五二、一五三、一五四、一五五、一五六、一五七、一五八、一五九、一六〇、一六一、一六二、一六三、一六四、一六五、一六六、一六七、一六八、一六九、一七〇、一七一、一七二、一七三、一七四、一七五、一七六、一七七、一七八、一七九、一八〇、一八一、一八二、一八三、一八四、一八五、一八六、一八七、一八八、一八九、一九〇、一九一、一九二、一九三、一九四、一九五、一九六、一九七、一九八、一九九、二〇〇、二〇一、二〇二、二〇三、二〇四、二〇五、二〇六、二〇七、二〇八、二〇九、二一〇、二一一、二一二、二一三、二一四、二一五、二一六、二一七、二一八、二一九、二二〇、二二一、二二二、二二三、二二四、二二五、二二六、二二七、二二八、二二九、二三〇、二三一、二三二、二三三、二三四、二三五、二三六、二三七、二三八、二三九、二四〇、二四一、二四二、二四三、二四四、二四五、二四六、二四七、二四八、二四九、二五〇、二五一、二五二、二五三、二五四、二五五、二五六、二五七、二五八、二五九、二六〇、二六一、二六二、二六三、二六四、二六五、二六六、二六七、二六八、二六九、二七〇、二七一、二七二、二七三、二七四、二七五、二七六、二七七、二七八、二七九、二八〇、二八一、二八二、二八三、二八四、二八五、二八六、二八七、二八八、二八九、二九〇、二九一、二九二、二九三、二九四、二九五、二九六、二九七、二九八、二九九、三〇〇、三〇一、三〇二、三〇三、三〇四、三〇五、三〇六、三〇七、三〇八、三〇九、三一〇、三一

トルコ……………四九

富田林……………七

【ナ行】

ナ

長崎……………三〇、三三

長殿村……………九四、九九、一〇〇、一一一

名古屋……………一三

奈良街道……………〇六

ニ

西山郷樫尾崎村……………一〇三

西ノ宮……………六、一六

仁豊野……………四一

丹生明神……………一〇八

二本松……………一六

ノ

能座村……………三九

【ハ行】

ハ

吉野川原……………一八八、一八〇
吉野山……………一八八、一八〇
淀川……………三三九

【ラ行】

ラ

洛中洛外……………三八

ロ

ロシア……………二九四

【ワ行】

ワ

鷺家口……………二七、二八、二九、三〇、三一、三二
鷺家谷……………三一
鷺家村……………一〇〇、一〇四、一〇六、一〇七、一〇九
和田……………九三、一〇一
和田山……………二九六、三〇〇

昭和十一年四月二十三日印刷
昭和十一年五月三日發行

定價金五圓

著者 德富猪一郎

發行者 三樹退三

印刷所 民友社印刷所
印刷者 齋藤計吉

發行所 東京市神田區錦町一丁目十六番地 民友社

發賣所 東京市神田區錦町 振替東京四九九一番 株式會社 明治書院

電話神田(25)二一四七番



終